

平成 25 年度第 1 回緑区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【開 催】

開催日時 平成 25 年 6 月 15 日（土）14：00～16：00

開催場所 緑保健福祉センター2 階 大会議室

出席者 委員 20 名中 18 名出席、ガイドヘルパー1 名
事務局 11 名（区長、緑保健福祉センター長、高齢障害支援課 3 人、緑区地域振興課 1 名、社協緑区事務所 2 名）、市地域福祉課 3 名）

【次 第】

- 1 開会
- 2 緑区長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 事務局職員紹介
- 5 議題
 - （1）委員長・副委員長の選任について
 - （2）広報部会委員の選任について
 - （3）平成 25 年度緑区地域福祉計画等の推進について
 - （4）千葉県孤独死防止通報制度について
 - （5）平成 25 年度開催日程について
- 6 その他
- 7 閉会

【議事及び質疑要旨】

議題（1）委員長・副委員長の選任について

事務局より、委員長、副委員長が選出されるまでの間、緑保健福祉センター所長が仮議長に就任することを提案し、承認された。

委員長には、出席委員からの推薦発言により、岡本委員が選任された。

また、副委員長の選任方法は、委員長による指名方式が了承され、岡本委員長より、田宮、松戸両委員を指名し、全員一致で承認された。

主な発言内容は以下のとおり。

（仮 議 長）本会の設置要綱第 5 条の規定により、委員長 1 名、副委員長 2 名を委員の互選により選出することとなっているが、初めに委員長の選任についてご意見等あればお願いしたい。

（本田委員）実行力のある岡本委員さんが適任だと思う

（全 員）異議なし

(岡本委員長) 今年は第 2 期計画の 3 年目に入る。2 期の一番大事なときだと思っている。

特に見守りについてどう進めていくか、各地区で案を出して協議していきたい。次年度は第 3 期計画の検討に入るので、そこに向かって成果と課題を整理していきたい。もっといろいろな事をやりたかったという思いや、やりたかったのにできなかったという思いが残らないよう進めて欲しい。

副委員長を推薦したいと思う。一人は、フォーラム時代の計画策定から携わっている田宮さんをお願いしたい。もう一人は、地区連協を代表して松戸さんをお願いしたい。

(全 員) 異議なし

(松戸副委員長) 昨年度から推進協に参加し勉強し始めて不慣れなので、皆さんの支援をいただきたい。

(田宮副委員長) フォローされることが多いと思うが、皆さんの協力をお願いしたい。

議題（２）広報部会委員の選任について

4 つの地域と障害者を代表して、本田、田宮、関本、稲山、中村（和）、廣田の各委員が指名されて、承認された。

主な発言内容は以下のとおり。

(岡本委員長) 年 3 回発行している広報紙「みどりのきずな」の編集委員を決めたい。
中村（和）氏に広報委員長をお願いしたい。

(全 員) 異議なし

(中村委員) 広報誌には各地域の情報を掲載したいので、4 つの地域から 1 人ずつと障害者の方に参加してもらい 5 名の委員と自分の 6 名で広報部会を組織したい。

(岡本委員長) 各地区で集まって広報委員を決めて欲しい。

(各 委 員) ～話し合い～

(本田委員) 椎名地区は本田が担当する。

(大槻委員) 誉田地区は関本さんが担当する。

(田宮副委員長) おゆみ野地区は私が担当する。

(岡本委員長) 土気は稲山さんをお願いする。障害者として廣田さんをお願いしたい。

(廣田委員) 了解した。

議題（３）平成 25 年度緑区地域福祉計画等の推進について

平成 25 年の重点目標と今後の取り組みについて確認した。

主な発言内容は以下のとおり。

(岡本委員長) 計画書の 28 ページの重点目標をこの推進協では推進している。資料 7 に基本方針 1, 3, 4 と挙げているが、この重点目標を進めるために小委員会を設置している。まず学校と施設との交流小委員会は、高齢者と子ども達の手紙を通じた交流を行っている。課題が 3 点出ている。25 年度は、

その課題を解決するように進めていきたい。

基本方針 5 に交通対策とあるが、土気地域の課題を挙げていたが、バス会社との関係もあり進展しなかった。一旦この交通対策については止まっている。

基本方針 3 は、災害マップ小委員会を設置した。各地区に災害が起きた時にどのような対応をしたほうがいいのか検討した。素案はできたが各地区で作成できるように進めたい。

基本方針 4 は、小委員会を 6 回開催した。講演会や視察もしたので、緑区の 4 地区で進めたいと思っている。それぞれの地区での進捗を説明したい。椎名地区は徐々に進めている。詳細は市社協から説明して欲しい

(事務局) 椎名地区の古市場団地という集合住宅で見守り活動の協議が始まっている。自治会や民生委員、地域住民が参加してもらい古市場方式の見守りを検討し始めている。

(岡本委員長) この会議は報告と協議を中心に進めていきたい。報告は各地域の状況を説明してもらい、協議は重点目標をどのように進めるか協議していきたい。

—休憩—

(岡本委員長) 資料 7 ついて事務局の説明をお願いしたい。

(事務局) 各委員が属する地域団体で 25 年度の重点目標を記入してもらい、7 月 12 日までに返信用封筒で送って欲しい。昨年度の活動状況を配布しているので参考にして欲しい。

(廣田委員) 全盲なので自分で用紙に書けない。メールで連絡したい。

(事務局) 土谷まで送って欲しい。

(岡本委員長) 休憩前までの説明で不明瞭なことについて質問を受けたい。

(廣田委員) 交通問題について先ほど動きがストップしているということだったが、若葉区ではコミュニティバスがある。緑区ではどんな状況になっているのか分る範囲で教えて欲しい。

(岡本委員長) 土気地区で進めていたが、どのような状況か土気の委員に説明して欲しい。

(中村和委員) 自分の知っている範囲で説明したい。土気の地区連協などが中心となり地域内で話し合いを進めていた。巡回バスを土気の中で走らせたいという希望があった。自分は移送サービスをしている NPO としての立場で話し合いに参加していた。自治会と話を進めていく中で、巡回バス路線は駅をスタートとする土気を縦断する縦線だけではなく、土気を横線をつないでいきたいという話だった。あすみが丘は高齢者だけではなく、若い方も多く住んでいるので、住民アンケートをとった。しかし、結果的には巡回バスを走らせることにはいたらなかったのが実情である。土気地区には高齢者を移送する福祉有償運送や大椎台でのたすけあいの移送もあるので、現在はそれを利用している。

(松戸副委員長) おゆみ野地区でもまだ話は進んでいない。

(廣田委員) 理解した。

- (事務局) 若葉区の状況については交通関係の課に確認して次回説明することも出来る。
- (廣田委員) 現に巡回バスが走っている若葉区と緑区では何が違うのか知りたい。
- (石本委員) 16 年度に 23 地区連協の役員をした。土気にコミュニティバスを走らせたということで話し合った。熊谷市長ともタウンミーティングをした。市からは予算は出せないという話だった。市からの予算はないので、自治会が拠出金を出すのかという話にもなったが、非常に厳しいと思う。
- (岡本委員長) 予算的にそれ以上話は進まなかった。
- (廣田委員) 若葉区ではローズタウン線の代替で市が平和交通に補助金を出して運行したと記憶している。緑区では廃止する路線がないので今のところ難しいということか。
- (岡本委員長) そのようなことだと思う。予算的に厳しい。
次に見守りについてだが、各地区はどのような状況か報告して欲しい。
- (野口委員) 土気は見守りネットワーク土気を平成 18 年度から行っている。民生委員と福祉関係者と意見交換をしている。発足の趣旨は、独居高齢者をどう支援するかだったが、誰が見守りをするかで話がストップする。高齢者宅に民生委員が訪問するのは問題ないが、全く知らない人が訪問するには抵抗がある。
- (大槻委員) 見守りをするには高齢者がどこに住んでいるのか情報が必要だと思う。民生委員が高齢者名簿を自治会に出してくれるのか。社協や自治会で高齢者を把握するのは難しい。民生委員からは出せないと言われている。今後、民生委員、社協、自治会、学校と話し合いを進めていく必要を感じている。
- (本田委員) 椎名地区は 2 回見守りの会議を開催した。仲のいい友達が仲のいい高齢者を見守る形を広げていく予定でいる。現状は月 1 回の大掃除や回覧板により安否確認している。ボランティアがどのように募っていくか、また広報の仕方など協議が必要だと思っている。
- (岡本委員長) 7 月に 3 回目の会議をしてさらに進める。
- (岡本委員) 古市場団地の見守りは既に住民間の中で動いて見守りが進んでいる。あんしんケアセンターもいきいきサロンで高齢者と関わっている。見守りの 1 つの手段だと思うので今後も協力していきたい。
- (岡本委員長) 古市場団地では青パトを使って毎日まわっているという事例がある。
- (本田委員) 新聞、ガス会社、ヤクルト、郵便局に協力を求めて安否確認しているという事例もあった。
- (中村委員) おゆみ野地区部会は白紙状態である。これから考えていきたい。
- (松戸副委員長) 44 地区連協では見守り小委員会を発足し実際の活動をしていきたい。おゆみ野内に見守りが必要な自治会が 2 つあると思う。
- (岡本委員長) 古市場の会議に菅田地区やおゆみ野地区の方も参加して欲しい。次回は 7 月 12 日の 18 時から古市場第一団地集会室で行う。推進協には見守り小委員会がある。烏山委員から説明したい。
- (烏山委員) 昨年、緑区から 5 万円の助成金をもらって自治会や民生委員にアンケート

トをしてほとんどの方が見守りは必要という意見だった。12月に講演会を実施した。花見川区と若葉区の先進事例の報告だった。しかし参加者が少なかった。講演会後のアンケートでも見守りを進めるのは難しいという意見があった。今年度も見守り活動のきっかけ作りを手伝っていきたい。今年度も緑区の助成金をいただけることになった。

(岡本委員長) 小委員会は誰でも出られるし、ここのメンバーではなくとも参加できる。施設のほうで見守りについて何かあるか。

(石本委員) 施設では配置できる人員の問題もある。施設という観点からは外れるが、大椎台で災害時のときは民生委員のリストをもとに自主防と自治会で協力してやっていくことになっている。全戸に災害時の見守りを希望するかアンケートを実施してリスト化した。民生委員を中心に進めている。

(岡本委員) 重点目標3にあるが、このあたりも十分ではない。小委員会で一緒に考えて欲しい。おゆみ野地区でも防災は進んでいる

(松戸副委員長) 「無事ですタオル」を各戸に配布している。震度5以上の際に家の前に出すことにしている。タオルが出てないお宅に役員が訪問することになっている。災害時の安否確認が早くできて効果的である。

(岡本委員長) 次回に「無事ですタオル」を見せて欲しい。
菅田地区で災害マップについて昨年度話し合った。小委員会に出てくれる方がいたら是非参加して欲しい。

(中村和委員) 災害マップ小委員会を12月と1月に2回行った。鎌取町内会の災害マップの雛形を作り、これを参考に各地域で独自のものを作ってほしいと今年2月の推進協で説明したと思う。

(岡本委員長) 今年度もさらに話し合いたい。障害者の委員も入ってもらいたい。

(廣田委員) これを機会に視覚障害のことについて話をしたい。緑区の地域福祉計画を読みたかったので千葉市のホームページを見た。パソコンで取り込んで音声で読み込んでみた。市政だよりはHTML版で載せられている。地域福祉計画書もPDF以外の形式でアップしてほしい。計画に接することが出来る。アクセシビリティを改善してもらえたら助かる。

(事務局) 次期計画を策定する段階で検討したい。

(中村和委員) 災害マップ小委員会で拠点福祉避難所としてときわ園が指定されている。見学してもいいと言われているので見学を実施したい。

議題(4) 千葉市孤独死防止通報制度について

千葉市の新しい取り組み「千葉市孤独死防止通報制度」について説明した。

主な発言内容は以下のとおり。

(事務局) 見守り活動に関連して、孤独死が問題になっている。現在はそれぞれの地域実情に応じて見守り活動に取り組んでいると思う。しかし取組状況については地域ごとに差異がある。今回は千葉市と事業者が連携し、安否確認する仕組みを作った。全国的に広がっており、県内でも進んでいる。制度概要は資料9を見て欲しい。電気・ガスや郵便宅配事業者が協力事

業者となり、検診員が訪問時に異変を発見したときに区役所に連絡し、市職員が訪問するものである。現在協定締結の最終段階で7月初旬には事業をスタートしたい。牛乳・乳酸菌飲料の配達業者にも段階的に参加してもらう事を考えている。通報については異臭がする、人が倒れている切迫時には区役所ではなく救急に通報してもらう。通報があった場合はまず区職員が訪問するが、区職員がただちに駆けつけることが困難なときは民生委員や地域の皆さんに対応をお願いすることもあるので協力して欲しい。なお、美浜区ではこの制度を活用し独自に美浜区見守りネットワークを実施している。ライフライン事業者の検診についてはこれまでも任意で通報を貰い、市職員やあんしんケアセンター職員が対象者宅を訪問し安否確認をしていた。したがって今回は全く新たな制度を構築したのではなく、これまで行っていた事を制度化しものである。地域間で取組状況に差異が見られる高齢者等の見守り活動を全市を対象に最低限のセーフティネットで覆う事と地域における見守り活動の活性化を目的に構築するものである。理解と協力をお願いしたい

- (岡本委員長) 見守り活動とかなり接点がある。ライフライン事業の契約は7月初旬のスタートを目標に進めているようである。
- (鵜田委員) 初めて参加したが、今後もあんしんケアセンターに相談していきたい。
- (江沢委員) 高齢者名簿は守秘義務で渡せないなので、行政から名簿を流してもらえればいいと思う。
- (徳田委員) 見守り活動については老人クラブでの対応は難しいと思う。
- (野崎委員) 自治会と民生委員、社協の横の連絡を今後検討していきたい。
- (小山委員) 推進協で残念なのが、予算がないことである。
- (関本委員) 誉田の市営住宅では役員で見守りをしているが、役員が居なくなった時のことを検討していきたい。
- (事務局) 推進協の予算はない。緑区の地域活性化支援事業や、高齢者見守りの補助金がある。初期費用や備品を買うのであれば利用して欲しい。
- (小山委員) この場は会議の場なのか
- (岡本委員長) ここはまず情報交換という報告と次に計画の重点目標を協議する場である。
- (事務局) 推進協設置要綱2条で示しているように情報交換や連絡調整をしてもらう。地区部会や民生委員が参加しているので、実際の事例を持ち帰り、地元地域で広げていただく事を大きな目的にしている。

議題（５）平成 25 年度開催日程について

区推進協は慣例で偶数月の第 2 土曜日となっているが、今年度については、以下のとおりとした

- ①開催日 第 2 回 8 月 24 日（土）
第 3 回 10 月 26 日（土）
第 4 回 12 月 14 日（土）
第 5 回 2 月 15 日（土）
- ②開催時間 午後 2 時から
- ③開催場所 緑保健福祉センター 2 階 大会議室

その他

（事務局）ICTを活用した地域課題解決の仕組みづくりについて資料を配布した。
千葉市の初めての事業である。スマートホンを利用して道路の変化などを地域の課題をレポートしてもらい、千葉市が把握して対処する内容である。
実証実験の参加者を募集しており、千葉市のホームページで募集する。

（事務局）福祉カレンダーについて資料 10 を見てほしい。8 月 9 月 10 月の各団体で周知したい記事を記入の上、7 月 31 日までにファックスしてほしい。
第 2 回緑区地域福祉計画推進協議会は 8 月 24 日（土）午後 2 時から緑保健福祉センター2 階大会議室で行う。

委員長が閉会を宣し、第 1 回緑区地域福祉計画推進協議会は散会。